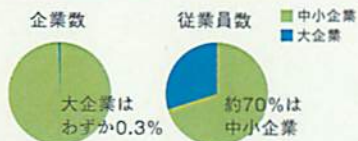


就職活動を
はじめた
ときに

Worklife Tips for students!

実際にほとんどの人は中小企業で働いている!



大企業は全国統計でみると、企業数で0.3%、従業員数で約30%。約70%は中小企業で勤務。

◆自分に合う企業⇨大手・人気企業とは限りません。時間を浪費すると、良い企業へ就職のチャンスを逃すことにも繋がってしまいます。

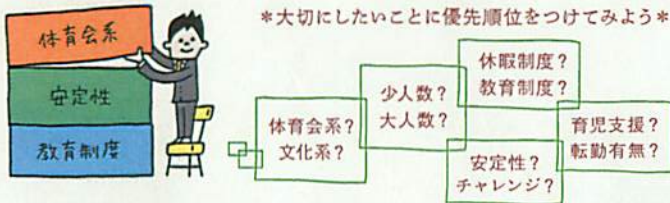
◆しかし、左上のデータを見てみると、実際に大手企業は多くの人にとって狭き門であることがわかります。

◆大企業・人気企業にこだわりの続けるあまり、エントリーシートを何度も書き直し、面接を何度も受けては落ち、「自分のどこが悪いだろう」などとヘトヘトに疲れ果てる学生も毎年たくさんいます。しかし就職前から体調を崩しては仕事どころではありません。

先入観を捨てた企業研究を。

◆評価軸は他にもいろいろあります。自分が魅力を感じる企業はどういう会社・仕事・職場なのか、先入観をなくして、いろんな角度から、企業研究を行うことが必要です。

大切にしたいことに優先順位をつけてみよう



◆さて、今のところあなたは、どんな視点で自分が就職する企業をイメージしていますか? 巷には、自分がやりたいことを見つけてようといったアドバイスがあふれています。しかし、実際はやりたいことが見つからず、「とりあえず大手企業から!」という方が多いようです。

大手企業・人気企業にこだわりすぎると…?

良い企業に出会うチャンスを増やす

◆しかし、左上のデータを見てみると、実際に大手企業は多くの人にとって狭き門であることがわかります。

自分の大事なことを整理する。

企業選びの評価軸はたくさんある

あなたにとってどついう企業が魅力的か

就職活動をする時によく見られる2つの勘違い

～せたがや若者フォーラム 2012.1.23より～



宮台真司 首都大学東京 都市教養学部教授

必ず適職が見つかるという幻想。

「1つは、適職幻想のワナです。企業は90年代半ばからインターネットのウェブサイトとエンターテインメントを採用したり、就職セミナーとかを開いている。そうした選択肢がたくさんある、その中のどれかが自分にぴったりだという適職幻想を抱くからです。残念ながら20歳そこそこの学生さんが自分が何者であるかなんていうことはよくわかりはしない。それを今は誰も言わず、適職が見つかるよというふうにして選択肢を提示する、非常に愚かしい時代になっていると思います。」

イメージで仕事を選びリスク。

「もう1つ、それと関係する企業イメージや仕事イメージのワナです。テレビやラジオや新聞広告で企業イメージを抱いてそれがいい企業だと思ふ。あるいは、そう思う親に喜ばれたいという企業を狙う、といった振る舞いが非常に多い。同じように周りが承認してくれる企業みんながすこいって言ってくれそうという動機が非常に多い。中小企業には就職口がたくさんあるのに、親が喜ぶ一部上場企業に就職口が見つからなかったから留年するみたいな学生が毎年わんざかいる。」

「就職、コレってありますか?」

- Q 希望の企業に内定をもらえないので就職浪人するという方法は実際どうなんでしょう?
- A 実際のところ、浪人しての就職はさらに難しくなります。

現在は求人倍率的には「選ばなければ入れる」状況(2013年大卒求人倍率調査より)。それでも就職しないのは企業から見て単なる「わがまま」に映る可能性が大。浪人しての就職はさらに難しくなります。希望の企業でなくても就職した方がいい場合がほとんどです。

メディアでの情報収集でもひと工夫!



1. 大手ばかりでなく中小企業の情報も豊富なWEBサイトをチェック!

- 「リクナビ」…リクルート運営の就活サイト
- 「JOBWAY」…中小企業の就職情報サイト
- 「J-NET21」…中小企業基盤整備機構運営。中小企業・ものづくり体験ツアーも主催。

2. 各種表彰企業などをチェック!

- 雇用創出企業(経済産業省)1400社
 - 日本フィランソロビー協会の受賞企業
(社会貢献とワークライフバランスの評価が高い企業)
 - 認定中小企業(厚生労働省の子育て支援認定企業)
 - 元気なものづくり中小企業(中小企業庁)300社
 - 知財で元気な企業2007(特許庁)
- …その他「グッドカンパニー賞」、「日経市場占有率」などの本で業界シェアが高い企業を探す、など。

できるだけ生の声を集める!



1. 先輩社会人達に実際に聞いてみる。
学校のキャリアセンターから紹介してもらう方法も。
2. 企業訪問して直接担当者の話を聞く。
気になること、わからないことを直接聞けるというメリットも。

身近な相談窓口を利用する!



1. 地方自治体等の就職支援窓口で相談する。
世田谷区は「おしごと相談コーナー」(一次ページ参照)
2. 学校のキャリアセンターに相談する。

「就活で困ったら」SOSを発すれば、あなたのサポーターはたくさんいます。

人生で初めての就職活動、大変なこともいっぱいあります。これから、なかなかうまくいかない就活に悩むこともあるかもしれません。「今の若い世代はSOSを出すのが苦手」とも言われています。家族、友人、先輩、そして、公共の就職支援窓口など、あなたの就職をサポートしてくれる人は身近にたくさんいます。迷ったり、困ったりしたらどんと相談しましょう。ひとりで悩んでいないで、周りの助けも借りながら、就活を乗り切ってください。さあ、あなたがイキイキと働ける企業を見つけましょう!

では、具体的にどうしたら自分に合う企業に出会える?

自分の大切なことが見えてきたら、それを念頭に置いた企業研究を。その方法は色々ありますが、そのうち幾つかをご紹介します。

結婚・出産後も働き続けたい…。

「大手企業じゃないけど、経営者が女性ということもあり、育児休暇など、女性がずっと働ける環境が整っている今の会社に決めました!」
(25歳・エステ業界勤務)

やっぱり自分は体育会系!

「ずっと野球部だったんですよ。だから先輩後輩がきちんとしていて、チームで熱く勝利に向かって、という雰囲気が好きなんです。そう思って探したのが今の会社。アットホームなところも気に入っています!」
(23歳・運送業界勤務)

少人数だから自分の意見が通る!

「大人数だとなかなか自分の意見が言えない性格なんです。自分の意見を反映したいと考えて、少人数のこの会社にしました。」(25歳・広告業界)

休日休暇制度が充実してないと…。

「正直、職種にこだわりはありませんでした(笑)。学生の時から付き合っている彼女とすぐ結婚したかったので、とにかく休日をきちんと取れて家族を大切にできる会社がいいと思って。」(25歳・製造業)

全国のいろんな人と出会いたい!

「実家を早く出てひとり暮らしがしたかったんです。いろんな町でいろんな人と出会うような仕事がよかったです。転職するのもむしろ歓迎!それもあって全国展開している今の会社に。」(26歳・人材派遣業)

本当の安定を探したら地元密着の中小企業

「父親が不況でリストラされたのを見て、大手もわからないなと思って。規模は大きくないけどみんな定年まで続けている創業100年の地域密着企業を見つけました。」(24歳・小売業)

やっぱりスキルを身につけたい!

「接客が好きなんです。スキルを学ばせてくれる会社がいいなと思って、今の会社に。大手ではないぶん、1人1人の社員への教育・指導が丁寧なんです。」(25歳・サービス業)



例えば先輩たちは、こんな視点で就職を考えました

自分にとって何が大切な。正直にじっくり考えてみよう。